

備前市 事務事業 評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年度			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	06 スポーツ・レクリエーション
事務事業名			01 海洋スポーツ普及事業
			根拠法令・例規等
			問 担当課(室) 教育委員会スポーツ振興室
			職・氏名 室長補佐 山本香代子
			電 話 63-3813

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	海洋クラブ員又は、小学生以上の海洋スポーツに興味のある人
目 的 (何のために)	B & G 海洋センターの事業として実施すること、海洋スポーツをとおして青少年の健全育成に努めることを目的とする。
行政活動 (どのような方法で)	艇庫開き 海洋スポーツ普及大会
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	艇庫開きの儀式を行い、クラブ員を募集し海洋大会に向けて活動をし、普及大会を開催することで市民の参加を募る。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	艇庫開き	人数	10	9	雨のため中止
	海洋スポーツ普及大会	人数	120	100	80
実 績	直接事業費	千円	50	213	149
	必要人員	人	0.10人	0.11人	0.05人
	事業費	千円	720	1,058	475
財 源	国 支 出	千円			
	県 支 出	千円			
	受 益 者 負 担	千円			
	繰 入 金	千円			
	市 債	千円			
	そ の 他 ()	千円			
	一 般 財 源	千円	720	1,058	475
	受 益 者 負 担 比 率	%			

結果指標	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	艇庫開き	人	10	9	雨のため中止
	対前年対比	%	-	90.0%	#VALUE!
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円	0	0	#VALUE!
	説明	海洋スポーツの事業を開始するためのクラブ員の募集をし、艇庫やカヌー等の点検と参加者の体験			
	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	艇庫開き	人	140	100	80
	対前年対比	%	-	71.4%	80.0%
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円	0	0	0
	説明	海洋スポーツに興味のある人を募りカヌー等の競技大会を開催する。			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
艇庫開きに参加することでクラブ員を募り、普及大会の参加者増で海洋スポーツを広める。	目標値(A)	150	150	150	160
	実績値(B)	130	109	80	到達目標年度
	達成率(B/A)	86.7%	72.7%	53.3%	平成23年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
指数は海洋スポーツ関係の事業への参加人数					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価 <A-E> B 判定理由・課題認識 B & G 海洋センターの事業として実施すること、海洋スポーツをとおして青少年の健全育成に努めることを目的とする。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B 判定理由・課題認識 指定管理者制度導入により、海洋関係の事業をB & Gの一部と考え指定管理者に移行することを考える。
	手段		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> B 判定理由・課題認識 吉永地域が中心となる事業であることから、海洋クラブのOBである吉永町青年団等のボランティアも有効に活用できた。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況		目標値	結果指標量	20	結果指標量	120	成果指標量	140
状況	目 標 値	20	120	140				
	状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	指定管理者制度導入により、海洋関係の事業をB & Gの一部と考え指定管理者に移行することを考える。							

総合評価		評価区分 <A-E>
B & G 海洋センター事業としての実施が必要であること、海洋スポーツをとおして青少年の健全育成に努めることを目的とするが、実施方法については、指定管理者制度導入に併せて今年度は見直しが必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
改善がある場合	方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了	
	説明	指定管理者に殆どの事業を移行していく。							
	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果					
	効率性	海洋スポーツは殆どが艇庫で行うため、海洋スポーツ教室、普及大会等の開催を指定管理者に任せる。	指定管理2年目から	旧吉永職員の指導資格取得者への負担がなくなる。					